

公益財団法人 SGH 財団 2023 年度私費外国人留学生奨学生の募集

2023.2.14

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- 1) 東南アジア諸国の国籍を有する私費外国人留学生(詳細は要項参照, 在留資格「留学」)
- 2) 春期入学者のうち、2023 年 4 月 1 現在で、学部 3 年次に進級, 又は博士課程(前期)の 1 年次へ入学, 又は博士課程(後期)の 2 年次へ進級する者

※ 他部局の博士課程(前期)1 年次に入学される方は、当該部局へ応募して下さい。

- 3) 2023 年 4 月 1 日現在で、学部学生は 27 歳未満、大学院学生は 35 歳未満の者
- 4) 2023 年 4 月以降に他からの奨学金を受けない者
- 5) 日本語によるコミュニケーションが可能な者

* 留学目的を日本語で説明するのに十分な能力を有するもの

- 6) 下記日程で開催予定の財団が主催する交流会・採用証授与式に出席できる者

* 交流会: 2023 年 10 月 21 日(土)～22 日(日) * 採用証書授与式: 2023 年 10 月 23 日(月)

Sufficient Japanese ability especially in speaking is required to apply.

2 支給額及び支給期間

月額 学士・修士課程 12 万円 博士課程 18 万円 2 年限度 (2023 年 4 月から 2025 年 3 月)

3 提出書類 (日本語自筆, 楷書・活字体, 黒いペンで記入)

- 1) 奨学金申請書 (所定用紙・写真貼付・片面印刷)

※ 青いペンや消えるボールペンで記入された願書は提出できません。

※ 在籍課程によって様式が異なるので注意すること (学部 1-1,2,3,5), (MC 2-1,2,3,5), (DC 3-1,2,3,5)

- 2) 学業成績証明書 (学部以降、直近のものまで)

※ 別添成績評価係数算出方法を参照の上、算出した係数を枠外に鉛筆書きで記入すること。

- 3) 在留カードの写し (表と裏を所定用紙に貼付, 学部 1-5, MC 2-5, DC 3-5)
- 4) 在学証明書 (MC 入学者は「合格通知書」の写し)
- 5) 身上調書(所定用紙)
- 6) 家計状況申告書(所定用紙)

* 5)～6)は、2022 年 10 月以降他の奨学金応募で既に提出したことがある場合は不要。

- 7) 指導教員の推薦理由書(所定用紙・片面印刷)

※ 在籍課程によって様式が異なるので注意すること。(学部 1-4), (MC 2-4), (DC 3-4)

- 8) GPA 記載の成績証明書

* 7)～8)は、工学部・工学研究科からの推薦が決まったら提出すること。

4 推薦人数

学部・博士前期課程 各1名 博士後期課程 2名

5 申請書類の提出先

工学部・工学研究科教務課国際交流係 (中央棟 3 階)

6 締切日

令和 5 年 3 月 28 日(火)

2023 年度に他奨学金の受給が決定している者ならびに申請中の者(直接応募含む)は、推薦対象外です。

総長特別奨学生で大学推薦された場合、受給期間中の授業料免除申請はできません。

2023 年度

私費外国人留学生奨学生募集要項

2023 年度奨学生募集について、日本の大学の学部もしくは大学院修士課程等に在学する私費外国人留学生の中から奨学金の受給者（以下「奨学生」という）を下記の要項により募集する。

記

1. 応募資格

奨学生に応募できる者は、東南アジア諸国（注：1）の国籍を有する私費外国人留学生（注：2）で、2023 年 4 月 1 日現在において、（注：3）下記の要件をそなえる者とする。

（1）学部生は、3 年次及び 6 年制学部コース（医・歯・獣医・薬学部）の 5 年次に進学する 27 歳未満の者。

大学院生は、修士課程（博士前期課程）の 1 年次又は一貫制博士課程の 1 年次に入学する 35 歳未満の者。

（2）学業・人物ともに優秀でかつ健康であり、経済的援助を必要とする者。

（3）他の奨学金を受給していない者。

（4）奨学金の給付期間中において、当財団が主催する交流会・採用証書授与式に出席できる者。

交流会：2023 年 10 月 21 日（土）～22 日（日）開催予定

採用証書授与式：2023 年 10 月 23 日（月）開催予定

（5）奨学生終了後も同窓生として交流活動に積極的に協力できる者

注 1：東南アジア諸国とは、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国をいう。

フィリピン・インドネシア・シンガポール・マレーシア・タイ・ブルネイ
ベトナム・ミャンマー・ラオス・カンボジア

注 2：「私費外国人留学生」とは、出入国管理及び難民認定法別表第 1 に定める「留学」という在留資格により、日本の大学、大学院において教育を受ける外国人学生で、日本政府から奨学金を受給していない者をいう。

注 3：春期入学のみ対象・秋期入学は対象外

2.奨学生採用予定人員

20 名

3.奨 学 金

奨学生として採用した者に対して、奨学金 月額 120,000 円を毎月 5 日迄に給付する。

4.奨学金の給付期間

奨学金の給付期間は 2 年間とする。(2023 年 4 月から 2025 年 3 月まで)

5.応募の手続き

- (1) 奨学生に応募する留学生は、学部学生〈別紙様式 1-1、1-2〉又は大学院修士課程（博士前期課程）〈別紙様式 2-1、2-2〉の申請書等に下記の書類を添えて、大学が指定する日までに在学する大学宛に提出しなければならない。申請には、所定の用紙内に収まるように記入すること。なお、すべての申請用紙に自筆で日本語で記入すること。

【注意】記入は黒いペンで楷書、アルファベットは活字体を使用

- ア. 指導教員等の推薦理由書〈別紙様式 1-3 又は 2-3〉（当該様式のみ本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> からダウンロード可）
- イ. 在留カードのコピー（表裏）〈別紙様式 1-5 又は 2-5〉
- ウ. 学業成績証明書
- エ. GPA 証明書（学業成績証明書に記載されている場合は省略可）
- オ. 在学証明書

- (2) 大学は、前記（1）の申請者の中から適当と認めた者について、学長の推薦書〈別紙様式 1-4 又は 2-4〉を添え、本財団に推薦する。

【注意】封筒に大学担当者の氏名と電話番号を明記のこと。

上記書類は返却致しませんのでご了承ください。

6.応募締切日

2023 年 4 月 17 日（月）（当日消印有効）

7.選考及び決定

本財団は、5 により大学から推薦（学部学生 1 名、大学院修士課程（博士前期課程）1 名以内）があった者について、本財団に設ける選考委員会に諮り、理事会の決議を経て決定する。

その結果については、在学する大学を通じて応募者本人に通知する。

(2023 年 5 月中旬頃を予定)

8.奨学金の休止・停止及び期間の短縮

給付対象者の確定後、奨学生に次の各号に定める事項が認められる場合は、奨学金の給付を休止、停止及び給付期間の短縮を行うことができる。

- (1) 奨学生が休学又は長期にわたって欠席したとき。
- (2) 奨学生の学業又は性行等の状況により、奨学生として適性を欠くと認められるとき。

9.奨学金の復活

8により、奨学金の給付が休止若しくは停止され、又は、期間を短縮された奨学生について、その事由が解消されたと認められる場合は、奨学金の給付を復活することができる。この場合、給付期間は通算2年間とする。

10.奨学金の打ち切り

奨学生が、次の各号の一つに該当すると認められる場合は、奨学金の給付を打ち切りすることができる。

- (1) 申請書の記載事項に虚偽が発見されたとき。
- (2) 大学若しくは大学院において懲戒等の処分を受け、成業の見込みがないと判断されるとき。
- (3) 申請時と異なる大学若しくは大学院に転学又は進学したとき。
ただし、指導教員の転勤等により奨学生が転学又は進学する場合を除く。
- (4) その他本財団奨学生としての不適格な状態となり、資格を失ったと判断されるとき。

11.転 退 学

奨学生が退学又は他の大学若しくは大学院へ転学した場合は、特別の事情があると認められるときを除き、奨学金の給付を辞退したとみなす。

12.返 納

奨学金の給付後において、8、10、又は11の各号の事由が生じていたことが判明した場合には、既に給付した奨学金の全部又は一部は返納させることができる。

13.報告書の提出

本財団が、奨学生に学業・研究等について照会を求めた場合は、これについて報告書を提出しなければならない。

14.届出の義務

奨学生は、次の各号の一つに該当する事情が生じた場合は、本財団に届出なければならない。ただし、本人が疾病等のために不可能なときは、所属大学又は家族から

届け出なければならない。

- (1) 傷病、その他の事故により、1 カ月以上欠席するとき。
- (2) 休学、復学、転科、転学部及び退学したとき。
- (3) 他の奨学機関から給付を受けるとき。
- (4) 本人、家族の身上、住所等、重要な事項に異動があったとき。
- (5) その他本財団が上記各号等について確認を求めたとき。

15.注意事項

他の奨学財団等から奨学金を受給している学生については、給付対象者とししない。

申請書提出先・問合せ先

〒 600-8009

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 79 番地

ヤサカ四条烏丸ビル 9 階

公益財団法人 S G H 財団 事務局

TEL 075-255-9310

FAX 075-255-9311

MAIL info_ss@sgh-foundation.or.jp

URL <https://www.sgh-foundation.or.jp>

個人情報の保護について:

申請書に記載された内容・提出書類は個人情報として保護されます。

ただし、次のとおり特定の関係者に対してのみ個人情報が提供されます。

- ① 書類審査・選考のため選考委員への情報提供。
- ② 複数の奨学金合格者確認のため、大学担当者及び奨学団体に「被推薦者・合格者一覧」を提供。

2023 年度

私費外国人留学生特定奨学生募集要項

2023 年度特定奨学生募集について、博士学位取得を目指す日本の大学の大学院博士課程に在学する私費外国人留学生の中から奨学金の受給者（以下「特定奨学生」という）を下記の要項により募集する。

記

1. 応募資格

特定奨学生に応募できる者は、東南アジア諸国（注：1）の国籍を有する私費外国人留学生（注：2）で、2023 年 4 月 1 日現在において、（注：3）下記の要件をそなえる者とする。

- （1）博士後期課程 2 年次、4 年制博士課程（医・歯・獣医・薬学部）3 年次又は一貫制博士課程 4 年次に進学する 35 歳未満の者。
- （2）学業・人物ともに優秀でかつ健康であり、経済的援助を必要とする者。
- （3）他の奨学金を受給していない者。
- （4）奨学金の給付期間中において、当財団が主催する交流会・採用証書授与式に出席できる者。

交流会：2023 年 10 月 21 日（土）～22 日（日）開催予定

採用証書授与式：2023 年 10 月 23 日（月）開催予定

- （5）特定奨学生終了後も同窓生として交流活動に積極的に協力できる者

注 1：東南アジア諸国とは、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国をいう。

フィリピン・インドネシア・シンガポール・マレーシア・タイ・ブルネイ
ベトナム・ミャンマー・ラオス・カンボジア

注 2：「私費外国人留学生」とは、出入国管理及び難民認定法別表第 1 に定める「留学」という在留資格により、日本の大学、大学院において教育を受ける外国人学生で、日本政府から奨学金を受給していない者をいう。

注 3：春期入学のみ対象・秋期入学は対象外

2. 特定奨学生採用予定人員

5 名程度

3. 奨 学 金

特定奨学生として採用した者に対して、奨学金 月額 180,000 円を毎月 5 日迄に給付する。

4. 奨学金の給付期間

奨学金の給付期間は 2 年間とする。(2023 年 4 月から 2025 年 3 月まで)

5. 応募の手続き

- (1) 特定奨学生に応募する留学生は、大学院博士後期課程〈別紙様式 3-1、3-2〉(様式 3-2-3、3-2-4 のみ本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> からダウンロード可) の申請書等に下記の書類を添えて、大学が指定する日までに在学する大学宛に提出しなければならない。申請には、所定の用紙内に収まるように記入すること。なお、すべての申請用紙に自筆で日本語で記入すること。(ダウンロード可の様式を除く)

【注意】記入は黒いペンで楷書、アルファベットは活字体を使用

- ア. 指導教員等の推薦理由書〈別紙様式 3-3〉
(本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> からダウンロード可)
- イ. 在留カードのコピー(表裏)〈別紙様式 3-5〉
- ウ. 学業成績証明書(修士修了時の成績証明書を提出)
- エ. G P A 証明書(学業成績証明書に記載されている場合は省略可)
- オ. 在学証明書

- (2) 大学は、前記(1)の申請者の中から適当と認めた者について、学長の推薦書〈別紙様式 3-4〉を添え、本財団に推薦する。

【注意】封筒に大学担当者の氏名と電話番号を明記のこと。

上記書類は返却致しませんのでご了承ください。

6. 応募締切日

2023 年 4 月 17 日(月)(当日消印有効)

7. 選考及び決定

本財団は、5 により大学から推薦(大学院博士後期課程 2 名以内)があった者について、本財団に設ける選考委員会に諮り、理事会の決議を経て決定する。
その結果については、在学する大学を通じて応募者本人に通知する。

(2023 年 5 月中旬頃を予定)

8.奨学金の休止・停止及び期間の短縮

給付対象者の確定後、特定奨学生に次の各号に定める事項が認められる場合は、奨学金の給付を休止、停止及び給付期間の短縮を行うことができる。

- (1) 特定奨学生が休学又は長期にわたって欠席したとき。
- (2) 特定奨学生の学業又は性行等の状況により、特定奨学生として適性を欠くと認められるとき。

9.奨学金の復活

8により、奨学金の給付が休止若しくは停止され、又は、期間を短縮された奨学生について、その事由が解消されたと認められる場合は、奨学金の給付を復活することができる。この場合、給付期間は通算2年間とする。

10.奨学金の打ち切り

特定奨学生が、次の各号の一つに該当すると認められる場合は、奨学金の給付を打ち切りすることができる。

- (1) 申請書の記載事項に虚偽が発見されたとき。
- (2) 大学若しくは大学院において懲戒等の処分を受け、成業の見込みがないと判断されるとき。
- (3) 申請時と異なる大学若しくは大学院に転学又は進学したとき。
ただし、指導教員の転勤等により特定奨学生が転学又は進学する場合を除く。
- (4) その他本財団特定奨学生としての不適格な状態となり、資格を失ったと判断されるとき。

11.転 退 学

特定奨学生が退学又は他の大学若しくは大学院へ転学した場合は、特別の事情があると認められるときを除き、奨学金の給付を辞退したとみなす。

12.返 納

奨学金の給付後において、8、10、又は11の各号の事由が生じていたことが判明した場合には、既に給付した奨学金の全部又は一部は返納させることができる。

13.報告書の提出

本財団が、特定奨学生に学業・研究等について照会を求めた場合は、これについて報告書を提出しなければならない。また、学位を取得した時点で、学位授与証明書（コピーも可）を提出すること。

14.届出の義務

特定奨学生は、次の各号の一つに該当する事情が生じた場合は、本財団に届出なけ

ればならない。ただし、本人が疾病等のために不可能なときは、所属大学又は家族から届け出なければならない。

- (1) 傷病、その他の事故により、1 カ月以上欠席するとき。
- (2) 休学、復学、転科、転学部及び退学したとき。
- (3) 他の奨学機関から給付を受けるとき。
- (4) 本人、保証人及び家族の身上、住所等、重要な事項に異動があったとき。
- (5) その他本財団が上記各号等について確認を求めたとき。

15.注意事項

他の奨学財団等から奨学金を受給している学生については、給付対象者とししない。

申請書提出先・問合せ先

〒 600-8009

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 79 番地

ヤサカ四条烏丸ビル 9 階

公益財団法人 S G H 財団 事務局

TEL 075-255-9310

FAX 075-255-9311

MAIL info_ss@sgh-foundation.or.jp

URL <https://www.sgh-foundation.or.jp>

個人情報の保護について:

申請書に記載された内容・提出書類は個人情報として保護されます。

ただし、次のとおり特定の関係者に対してのみ個人情報が提供されます。

- ① 書類審査・選考のため選考委員への情報提供。
- ② 複数の奨学金合格者確認のため、大学担当者及び奨学団体に「被推薦者・合格者一覧」を提供。

【SGH財団 申請時確認事項・提出書類】

応募資格	学部生	大学院生(博士前期)	特定奨学生(博士後期)	備考
学年 (2023年4月現在)	3年次 (医歯薬学6年制は5年次)	1年次	2年次 (医歯薬学4年制は3年次)	10月入学者は対象外
年齢 (2023年4月現在)	27歳未満	35歳未満		

提出書類	学部生	大学院生(博士前期)	大学院生(博士後期)	備考
(1)申請書類一式	・申請書(様式1-1) ・(様式1-2)	・申請書(様式2-1) ・(様式2-2)	・申請書(様式3-1) ・(様式3-2)	
(2)推薦理由書	様式1-3	様式2-3	様式3-3	指導教員により作成のこと
(3)在留カード	様式1-5	様式2-5	様式3-5	所定用紙に表・裏のコピーを貼付すること
(4)学業成績証明書	学士課程以降、直近まで全ての課程の成績証明書			母国のものを含む場合は写しでも可
(5)GPA証明書	直近のもの		博士前期課程のもの	(5)に記載されている場合は省略可
(6)在学証明書	2023年4月現在で在籍する課程の在学証明書			4月1日以降に発行のもの

※申請書類各所に記載のある記入上の注意をよく読み、指定されたとおりに記載すること。

※(4)については、別紙の成績評価係数算出方法を参照の上、算出した成績評価係数を余白に記入すること。

※(6)の提出は、学内×切を過ぎても構いません。ただし、その場合も他の書類は期日までに揃えて提出すること。

※すべて黒いペンで記入すること。青いペンやフリクションで記入された書類は提出できません。

※提出の際は必ず片面で印刷すること。

記入上の注意

①日本語で記入

②自筆のこと

公益財団法人SGH財団

2023年度 私費外国人留学生奨学生申請書

(学部学生)

1. 氏 名 (母国語) _____

(ローマ字) _____

2. 国 籍 _____

3. 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (満 歳 カ月)

(年齢は、2023年4月1日現在で記入のこと)

4. 現 住 所 〒 (-) _____

電話番号 () - _____

5. 在籍大学 _____ 大学 _____ 学部 _____ 学科 _____ 年次 _____ (2023年 月 日現在)

☐理系☐文系

入学年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 入学

所 在 地 〒 (-) _____ 電話番号 () - _____

6. 学 歴

教育機関 の種類	学校名および所在地	修学 年数	入学および卒業年月	専攻科目	取得した学位 または資格等
高等学校 から	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		

7. 日本語の学習歴

(1) 学習機関名 _____

(2) 学習機関 _____ 年 _____ 月から _____ 年 _____ 月まで (_____ 年 _____ カ月間)

8. 職歴

勤務先	所在地	勤務時間	職名	職務内容

日本への入国年月： _____ 年 _____ 月

近影のカラー写真
3cm×4cmの上半身
を貼付すること。
裏面に氏名・国籍
を記入のこと。

9. 家庭状況

氏 名	続柄	年齢	職業	年収額	住 所
	父			万円	
	母			万円	

・年収額は、見込額も含め、必ず1年間分（12ヵ月分）の概算額または予定額を記入すること。
無収入または不明の場合は、「なし」または「不明」と記入し、空白にしないこと。

10. 経済状況（2022年月額平均を記入）

・次の各事項を留意の上、記入のこと

1. 経済状況は、日常生活に必要な諸費用を記入すること。
2. 各月または臨時的な状況等により、1ヵ月の金額に変動がある場合は平均した月額を記入すること。
3. 平均収入額・平均支出額欄とも、内訳の全項目および金額等を必ず記入すること。
なお、該当がない項目については「なし」と記入し、空白にしないこと。
4. 平均収入額または平均支出額の金額は、それぞれ内訳の項目金額の合計額と一致すること。

(1) 1ヵ月の平均収入額 _____ 円

①仕送り額 _____ 月額 _____ 円

（仕送り者との続柄および職業）続柄 _____ 職業 _____ （仕送り者の年収額） _____ 円

②アルバイトの収入額 _____ 月額 _____ 円 職種 _____

③アルバイト以外の収入額 _____ 月額 _____ 円 預金引出・配偶者の収入・その他（ _____ ）
（該当するものに○印を付すこと）

④奨学金 _____ 月額 _____ 円 名称 _____

受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月 （終了20 _____ 年 _____ 月）

(2) 1ヵ月の平均支出額 _____ 円（生活費を計上のこと）

①住居費 _____ 月額 _____ 円

自宅・借マンション・借アパート・借家・下宿・寮・社員寮・同居・その他（ _____ ）
（該当するものに○印を付すこと）

※住居の広さ _____ 間 _____ 畳 (㎡)

②授業料その他大学所定の納付金等 _____ 月額 _____ 円

③食費 _____ 月額 _____ 円

④その他の支出額 _____ 月額 _____ 円（交通費等日常経費を具体的に記入のこと）

内訳項目	月額	円
_____	月額	円
_____	月額	円
_____	月額	円
_____	月額	円

1 1. 授業料等の状況

(1) 授業料の減免 (いずれも該当する番号に○印を付すこと)

2023年度について

①受けている (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請している (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

2022年度について

①受けていた (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請したが不採用 (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

1 2. 他の奨学団体等への応募 (該当するものに必ず○印を付すこと)

①応募していない

②応募している (応募中・応募予定)

* ②の場合は、次の各項目に記入のこと

団 体 名 _____ 月 額 _____ 円

受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、2023年度 公益財団法人SGH財団の募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用して頂きたく申請いたします。

公益財団法人SGH財団

理事長 栗和田 榮一 殿

申請年月日 2023 年 _____ 月 _____ 日

申請者氏名 _____

申請者署名 _____

(様式 1-2) -1 記入上の注意: ①日本語で自筆のこと ②自分の言葉で書いて下さい

(学部学生)

大学名： _____ 大学 _____ 学部 _____ 学科 _____

國籍

氏 名 _____

留学の目的について

関心を持っている学習について

卒業後の計画について

[illegible]

日本に留学して感じたこと、経験したことについて

[illegible]

2023 年度
在留カードコピー貼付用紙

表

裏

公益財団法人SGH財団

記入上の注意

①日本語で記入

②自筆のこと

2023年度 私費外国人留学生奨学生申請書

(大学院修士課程)

1. 氏 名 (フリガナ) _____

(ローマ字) _____

2. 国 籍 _____

3. 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (満 歳 カ月)
(年齢は、2023年4月1日現在で記入のこと)近影のカラー写真
3cm×4cmの上半身
を貼付すること。
裏面に氏名・国籍
を記入のこと。

4. 現 住 所 〒 (-) _____

電話番号 () - _____

5. 在籍大学 _____ 大学院 _____ 研究科 _____ 専攻 _____ 課程 _____ 年次 _____
(2023年 月 日現在)☐理系☐文系

入学年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 入学

所 在 地 〒 (-) _____ 電話番号 () - _____

6. 学 歴

教育機関 の種類	学校名および所在地	修学 年数	入学および卒業年月	専攻科目	取得した学位 または資格等
高等学校 から	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		

7. 日本語の学習歴

(1) 学習機関名 _____

(2) 学習機関 _____ 年 _____ 月から _____ 年 _____ 月まで (_____ 年 _____ カ月間)

8. 職 歴

勤務先	所在地	勤務時間	職名	職務内容

日本への入国年月： _____ 年 _____ 月

9. 家庭状況

氏 名	続柄	年 齢	職 業	年 収 額	住 所
	父			万円	
	母			万円	

- ・年収額は、見込額も含め、必ず1年間分（12ヵ月分）の概算額または予定額を記入すること。
無収入または不明の場合は、「なし」または「不明」と記入し、空白にしないこと。

10. 経済状況（2022年月額平均を記入）

・次の各事項を留意の上、記入のこと

1. 経済状況は、日常生活に必要な諸費用を記入すること。
2. 各月または臨時的な状況等により、1ヵ月の金額に変動がある場合は平均した月額を記入すること。
3. 平均収入額・平均支出額欄とも、内訳の全項目および金額等を必ず記入すること。
なお、該当がない項目については「なし」と記入し、空白にしないこと。
4. 平均収入額または平均支出額の金額は、それぞれ内訳の項目金額の合計額と一致すること。

(1) 1ヵ月の平均収入額 _____ 円

①仕送り額 _____ 月額 _____ 円

(仕送り者との続柄および職業) 続柄 _____ 職業 _____ (仕送り者の年収額) _____ 円

②アルバイトの収入額 _____ 月額 _____ 円 職種 _____

③アルバイト以外の収入額 _____ 月額 _____ 円 預金引出・配偶者の収入・その他 (_____)
(該当するものに○印を付すこと)

④奨学金 _____ 月額 _____ 円 名称 _____

受給期間 _____ 年 月 ~ _____ 年 月 (終了20 _____ 年 月)

(2) 1ヵ月の平均支出額 _____ 円 (生活費を計上のこと)

①住居費 _____ 月額 _____ 円

自宅・借マンション・借アパート・借家・下宿・寮・社員寮・同居・その他 (_____)
(該当するものに○印を付すこと)

※住居の広さ _____ 間 _____ 畳 (㎡)

②授業料その他大学所定の納付金等 _____ 月額 _____ 円

③食費 _____ 月額 _____ 円

④その他の支出額 _____ 月額 _____ 円 (交通費等日常経費を具体的に記入のこと)

内訳項目	_____	月額	_____ 円
	_____	月額	_____ 円
	_____	月額	_____ 円
	_____	月額	_____ 円
	_____	月額	_____ 円

1 1. 授業料等の状況

(1) 授業料の減免 (いずれも該当する番号に○印を付すこと)

2023年度について

①受けている (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請している (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

2022年度について

①受けていた (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請したが不採用 (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

1 2. 他の奨学団体等への応募 (該当するものに必ず○印を付すこと)

①応募していない

②応募している (応募中・応募予定)

* ②の場合は、次の各項目に記入のこと

団 体 名 _____ 月 額 _____ 円

受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、2023年度 公益財団法人SGH財団の募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用して頂きたく申請いたします。

公益財団法人SGH財団

理事長 栗和田 榮一 殿

申請年月日 2023 年 _____ 月 _____ 日

申請者氏名 _____

申請者署名 _____

(様式 2-2) -1 記入上の注意: ①日本語で自筆のこと②自分の言葉で書いて下さい (大学院修士課程)

大学名： 大学院 研究科 専攻

国籍

氏 名 _____

留学の目的について

修了後の計画について

研究主題および研究計画・内容等について

(指導教員名)

(研究主題)

(研究計画・内容等)

2023 年度
在留カードコピー貼付用紙

表

裏

公益財団法人SGH財団

記入上の注意

①日本語で記入

②自筆のこと

2023年度 私費外国人留学生特定奨学生申請書

(大学院博士後期課程)

1. 氏 名 (フリガナ) _____
(ローマ字) _____

2. 国 籍 _____

3. 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (満 _____ 歳 _____ カ月)
(年齢は、2023年4月1日現在で記入のこと)

近影のカラー写真
3cm×4cmの上半身
を貼付すること。
裏面に氏名・国籍
を記入のこと。

4. 現 住 所 〒 (_____) _____

電話番号 (_____) _____

5. 在籍大学 _____ 大学院 _____ 研究科 _____ 専攻 _____ 課程 _____ 年次 _____
(2023年 _____ 月 _____ 日現在) ☐理系 ☐文系

入学年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 入学

所 在 地 〒 (_____) _____ 電話番号 (_____) _____

6. 学 歴

教育機関 の種類	学校名および所在地	修学 年数	入学および卒業年月	専攻科目	取得した学位 または資格等
高等学校 から	学校名 所在地	年	入学 _____ 年 _____ 月 卒業 _____ 年 _____ 月		
	学校名 所在地	年	入学 _____ 年 _____ 月 卒業 _____ 年 _____ 月		
	学校名 所在地	年	入学 _____ 年 _____ 月 卒業 _____ 年 _____ 月		

7. 日本語の学習歴

(1) 学習機関名 _____

(2) 学習機関 _____ 年 _____ 月から _____ 年 _____ 月まで (_____ 年 _____ カ月間)

8. 職 歴

勤務先	所在地	勤務時間	職名	職務内容

日本への入国年月 : _____ 年 _____ 月

9. 家庭状況

氏 名	続柄	年齢	職業	年収額	住 所
	父			万円	
	母			万円	

- ・年収額は、見込額も含め、必ず1年間分(12ヵ月分)の概算額または予定額を記入すること。
無収入または不明の場合は、「なし」または「不明」と記入し、空白にしないこと。

10. 経済状況(2022年月額平均を記入)

・次の各事項を留意の上、記入のこと

1. 経済状況は、日常生活に必要な諸費用を記入すること。
2. 各月または臨時的な状況等により、1ヵ月の金額に変動がある場合は平均した月額を記入すること。
3. 平均収入額・平均支出額欄とも、内訳の全項目および金額等を必ず記入すること。
なお、該当がない項目については「なし」と記入し、空白にしないこと。
4. 平均収入額または平均支出額の内訳は、それぞれ内訳の項目金額の合計額と一致すること。

(1) 1ヵ月の平均収入額 _____ 円

①仕送り額 _____ 月額 _____ 円

(仕送り者との続柄および職業) 続柄 _____ 職業 _____ (仕送り者の年収額) _____ 円

②アルバイトの収入額 _____ 月額 _____ 円 職種 _____

③アルバイト以外の収入額 _____ 月額 _____ 円 預金引出・配偶者の収入・その他 (_____)
(該当するものに○印を付すこと)

④奨学金 _____ 月額 _____ 円 名称 _____

受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月 (終了20 _____ 年 _____ 月)

(2) 1ヵ月の平均支出額 _____ 円 (生活費を計上のこと)

①住居費 _____ 月額 _____ 円

自宅・借マンション・借アパート・借家・下宿・寮・社員寮・同居・その他 (_____)
(該当するものに○印を付すこと)

※住居の広さ _____ 間 _____ 畳 (㎡)

②授業料その他大学所定の納付金等 _____ 月額 _____ 円

③食費 _____ 月額 _____ 円

④その他の支出額 _____ 月額 _____ 円 (交通費等日常経費を具体的に記入のこと)

内訳項目	月額
_____	_____ 円
_____	_____ 円
_____	_____ 円
_____	_____ 円
_____	_____ 円

1 1. 授業料等の状況

(1) 授業料の減免 (いずれも該当する番号に○印を付すこと)

2023年度について

①受けている (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請している (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

2022年度について

①受けていた (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請したが不採用 (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

1 2. 他の奨学団体等への応募 (該当するものに必ず○印を付すこと)

①応募していない

②応募している (応募中・応募予定)

* ②の場合は、次の各項目に記入のこと

団 体 名 _____ 月 額 _____ 円

受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、2023年度 公益財団法人SGH財団の募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用して頂きたいと申請いたします。

公益財団法人SGH財団

理事長 栗和田 榮一 殿

申請年月日 2023 年 _____ 月 _____ 日

申請者氏名 _____

申請者署名 _____

(大学院博士後期課程)

大学院

研究科

專攻

国 籍

氏 名

留学の目的について

修了後の計画について

修了後の計画について

研究主題および研究計画・内容等について

(指導教員名)

(研究主題)

(研究計画・内容等)

2023 年度

(大 学 院 博 士 後 期 課 程)

学位取得の可能性について

(推薦理由書と合わせてご提出くださいますようお願い申し上げます。)

(1) あなたはこの申請者をいつからご存じですか？

(年 月 から 約 年 カ月)

(2) ご指導なさる立場から、この申請者をどう思われますか。

下記の設問について当てはまる記号に○をつけてください。

(A=はい B=どちらともいえない/わからない C=そうでもない)

- a. 自分の意見を進んで発表する (A B C)
- b. 指示がなくても自主的に課題を進める (A B C)
- c. 他者の意見も自由に聞き、必要なら積極的に採り入れる (A B C)

(3) 下記の質問に対し、線上の適当と思う位置に○印をつけてください。

a. この申請者は、予定の期間内に、博士号を取得できると思われますか。

非常にむずかしい

必ず取得できる

I-----I-----I-----I-----I

b. この申請者の研究が公表されると、当該学会でどの程度の評価が得られると思われますか。

非常に低い評価

非常に高い評価

I-----I-----I-----I-----I

c. この申請者は、将来国際交流の面で有為な人物となると思われますか。

非常にむずかしい

非常に確率が高い

I-----I-----I-----I-----I

推薦者（指導教員等）

2023 年 月 日

所属機関

職 名

氏 名



2023 年度
在留カードコピー貼付用紙

表

裏

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

〔成績評価係数の算出方法〕（小数点第三位を四捨五入）

	成 績 評 価				
4段階評価（パターン1）		優	良	可	不可
4段階評価（パターン2）		A	B	C	F
4段階評価（パターン3）		100～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

〔計算式〕

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
- ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
- ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
- ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
- ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
- ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
- ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
- ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。

※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

*2022年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身 分	学部 年 学部研究生 MC 年 DC 年 大学院研究生	学籍番号			
学科名 専攻名		指導 教員		研究室 TEL	
氏 名	(漢字)			既婚・未婚	
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国 籍		
東北大学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了			
東北大学 での移動 (新しい順番に)	在籍身分	在籍期間			
		年 月 ~ 現在			
		年 月 ~ 年 月			
		年 月 ~ 年 月			
住 居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山 国際交流会館三条第一会館 ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ) 国際交流会館三条第二会館 ユニバーシティ・ハウス片平 ユニバーシティ・ハウス長町 国際交流会館東仙台会館 県・市営住宅・民間アパート(住所)				

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏 名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*2022年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在 籍	学部 年	学部研究生	学籍番号
	MC 年 DC 年	大学院研究生	
氏 名			

家計状況

* 2021年10月から2022年9月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか？ 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間		月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	

*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例: 2021年 ○○奨学金)

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2022年度	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請中	申請したが不許可だった
2021年度	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった